

新型コロナウイルス感染症の 影響を踏まえた 高齢者の保健事業 事例の紹介

長期間の外出自粛生活や、通いの場の中止等が高齢者に心身に与える影響を考慮して実施する保健事業や、通常の保健事業における感染症予防策等、感染症の影響を踏まえた高齢者の保健事業について市町村の取組事例をまとめました。

※ 人口及び高齢化率は令和2年4月1日の数値です。

※ 各地域の感染症流行状況等により、事業内容を変更していることがあります。

令和2年12月24日



厚生労働省保険局高齢者医療課

目次

■ ポピュレーションアプローチの事例

- 長野県筑北村 P1
- 長野県山ノ内町 P1
- 兵庫県淡路市 P2
- 大阪府藤井寺市 P2-4

■ ハイリスクアプローチの事例

- 北海道枝幸町 P5
- 岡山県笠岡市 P5
- 鹿児島県日置市 P6
- 鹿児島県霧島市 P6

長野県 筑北村

(人口4,390人、高齢化率45.1%)



※昨年度の様子

通いの場を野外で開催！ ～青空ロコトレ体操・栄養教室～

■実施内容

- ・本来屋内に集まっていた村主催の介護予防運動教室の活動を、緊急事態宣言後の4～5月の間は野外で実施。教室では健康運動指導士・栄養士が体操の講話、栄養相談等を実施。
- ・会場は公民館の庭等、30人程度が集まっても密にならない場所を選択。
- ・椅子等の必要物品は役場から車で運んだ。

■感染症対策

- ・受付時の体調・体温確認、手指消毒、マスク着用

■対象者の反応

- ・気候が良い季節に、外でみんなで集まる機会ができてありがたかった。
- ・自粛生活の中で、気を付けないといけない運動・食事のポイントがわかってよかった。
- ・村に感染者が出ていない中でどのように感染症に気を付けるべきかを専門職に相談することができて安心につながった。

長野県 山ノ内町

(人口11,326人、高齢化率42.0%)



※買い物の様子

高齢者の買い物支援「わくわく商店街」の場を活用した健康教育

■実施内容

- ・わくわく商店街は、町内の集会所に各商店が食料、日用・介護用品等を調達し、町の高齢者は送迎付きで買い物ができる社協の事業。感染症流行下は時間帯で来場者数を制限して開催。月2回、毎回計60名程度が来場。
- ・感染症流行下であっても「高齢者が集まる場」としてわくわく商店街を活用し、会場に保健師、管理栄養士が駐在。買い物を終えた後の休憩時間に高齢者の個別相談に応じている。（本来は一定数を集めた集団教育を予定）

■感染症対策

- ・会場の換気、来場者数制限、滞在時間制限、来場時手指消毒、マスク着用

■対象者の反応

- ・買い物だけではなく、誰かと会話ができる時間であるため毎回楽しみにしている。認知症にはなりたくないので、予防について知ることができてよかった。



※ 買い物後の相談の様子

兵庫県 淡路市

(人口43,253人、高齢化率37.8%)

健診会場を活用し、75歳以上の受診者全員に個別健康相談を実施

■実施内容

- ・感染症流行下であっても高齢者が集まる集合健診（まちぐるみ健診）の会場で、健診当日に、75歳以上の受診者全員に対し後期高齢者の質問票を活用し、市保健師・管理栄養士による個別健康相談を実施。9割以上の受診者に介入できている。
- ・質問票各項目に該当するハイリスク者には各種事業（歯科・骨粗鬆症検診等）を紹介し、その後のフォローも実施。さらに同会場に地域包括支援センターの「物忘れ相談(保健師)」もブースを設置し、認知機能低下が気になる方はその場で物忘れ相談につないでいる。

■感染症対策

- ・相談時は対象者と一定距離を確保し、スタッフはマスク・フェイスシールドを着用。

■対象者の反応

- ・感染症流行下で会話をする機会が少ないため、健診ついでに健康相談ができてよかった。
- ・外出機会が減っていたが、パンフレットの体操なら自宅で簡単にできそう。
- ・フレイルという言葉が知らなかった。今からは「やせ」に気を付けないといけないことがわかった。



大阪府 藤井寺市

(人口64,384人、高齢化率28.4%)

高齢者のための情報誌「ナイス！つながり情報便」の発行

■実施内容

- ・感染症流行下で通いの場が中止となっていく中でも、高齢者同士がつながりを保てるよう高齢者のための情報誌の作成を開始した。高齢者に向けて、介護予防や生活に役立つ情報をわかりやすく記事にするだけでなく、高齢者が自作の川柳やポエム、写真、趣味仲間の募集等を投稿できるコーナーも設けている。
- ・個人同士のつながりを支援するため、希望者（100名以上）に対して郵送している。

■実施体制

- ・地域包括支援センターへの生活支援体制整備事業の一環として市が委託して作成。
- ・介護予防や健康管理についての記事内容は企画の段階から生活支援コーディネーターと市保健師と話し合いにより決めている。

■対象者の反応

- ・毎月情報誌をととても楽しみにしており、外出自粛生活の励みにもなっている。
- ・情報誌をきっかけに連絡を取り合える友人ができた。



あなたの近くにも
いきいき元気さん♪

「何歳になっても
好奇心を忘れない」

とにかく興味湧いたら、調べず
にはられないんです(笑)
好奇心が強いんでしょうね。今まで
色々な作品を作りました。

ハーバリウムや、シャドーボック
スなど手作り作品を作っています。
手先を動かすのが好きなんです。

材料の注文はパソコンを使っ
て通販で購入。自宅に届けてもらっ
ています。今年92歳。パソコンをや
り始めたのは80代からです。今の
時代は、やっぱりパソコン使えなく
ちゃね(笑)

ちょっとした手作りの品をプレ
ゼントすると喜んでもらえる。また
作ろうと思う。今が一番楽しいで
す。そう思うことが、何よりの元
気の秘訣ですね。

墨村 英子さん



シャドーボックスとは
同じ絵を数枚重ねて立
体感を出せる作品です。



自宅に友人を呼んで作品作りをすることも。飼
い猫のねねちゃん。17歳(人間でいうと90代！)
と一緒に励みあっているそうです★

お役立ちレシピコーナー

「旬の野菜特集★ 冬至にはかぼちゃ
かぼちゃの甘辛焼き風」

材料 (1~2人前)

かぼちゃ: 1/4個、しょうゆ・砂糖: 各大さじ1、酢: 大さじ1、
ごま: たっぷり

作り方

- ① かぼちゃは1cm幅の食べやすい大きさにカット。
- ② 多めの油を引き、裏表軽く焦げ目がつくまで焼く。
- ③ しょうゆ、砂糖を絡める。※焦げやすいので1度火を止めます。
- ④ ゴマをかけたら完成♪ ※照りが足りない時は、水を少々入れます★

投稿: 松永さん (参考)



ひとこと日記

● ♪夕空腫れて 秋風吹く♪

ベランダからの眺めです。シャッターチャンス1枚です。
投稿 まっちゃん さん



寺平 康代さん



みんなの投稿掲示板

ほっこり返信コーナー

★ひとこと日記の辻さまに感謝。

元氣と勇気を頂きました。いつまでも元氣で過ごすに
はそれなりの努力が必要ですね。私は良くも悪くも諦
めが早く、すぐ「まあいいや」で何事も諦めていまし
た。恥ずかしくなりました。今はリハビリ頑張ってお
ります! 辻さまには頭が下がります。これからもお体
にお気をつけてご自愛くださいませ。

ペンネーム 赤いバラさんより

★毎月、つながり情報便ありがとうございます。

いつも楽しみにしております。今日は久しぶりにペ
ンを取りました。脳梗塞の後、思いにまかせぬ筆跡にて
痛みあります。

ペンネーム 鶴水さんより



投稿募集中

こんなん作りました★



絵はがき
投稿: 赤いバラさん



手作り作品
投稿: ともちゃん



菊の花
投稿: スヌーピー君



錦織公園にて遠足です♪
投稿: 二井さん



河内長野の花の文化園
投稿: 二井さん

- ★ 一日を 孫の着物の 身上げして 赤いバラさん
- ★ 冬日和 青空に舞う 落ち葉かな 鈴さん
- ★ 会釈して マスクの友と 通りすぐ こやけさん
- ★ 背に伝う 干し寝具の ほの温み 鶴水さん
- ★ 十三夜 かがやき仰ぐ 皆の無事 桑本さん
- ★ GOTOで リッチな旅を 思い出に 赤いバラさん
- ★ 夕方の 友との語り 時間忘れ 赤いバラさん
- ★ 晩秋の 暮れゆく早さ 我急ぐ 鶴水さん
- ★ 溪紅葉 程よき位置に 佇ちつくす 鈴さん
- ★ 景色より 話し花咲く バスの旅 こやけさん
- ★ 庭に咲く つわぶきの花 あざやかに 松永さん
- ★ 鏡見て 元氣な私 また明日 桑本さん

川柳・俳句



北海道 枝幸町

(人口7,869人、高齢化率35.2%)



80歳以上独居高齢者への電話相談

■実施内容

- ・感染症流行下で新たに、外出自粛の影響でより孤立しやすい独居高齢者を対象に電話での状況確認を実施した。

■実施体制

- ・町域が広い(約1,116km²)ため、高齢者の保健事業に従事する町保健師は保健予防グループに保健事業担当の7名(地区担当制)と、福祉介護グループの介護予防担当の2名が連携し実施している。
- ・電話相談の対象者情報は地域包括支援センターと共有し、電話がつかない人や状態が心配な者は、地域包括支援センター・民生委員・介護予防の担当保健師でアウトリーチ支援を実施する体制をとった。

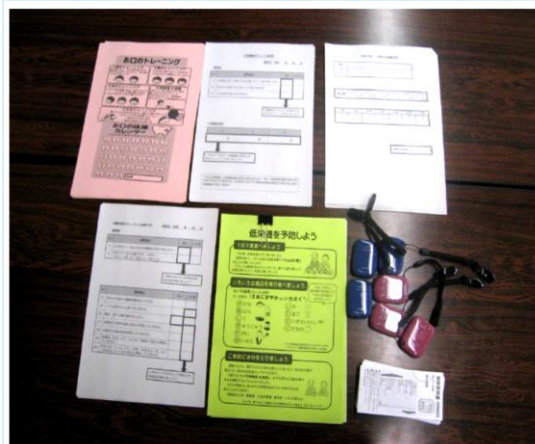
■対象者の反応

- ・「元気だよ」「EOS(地元のケーブルTV)の体操やってるよ」など今回は緊急でアウトリーチ支援が必要な人はいなかった。病院受診をどうしたらよいか等の相談を受けた。



岡山県 笠岡市

(人口47,613人、高齢化率36.3%)



相談セット

あらゆる視点から取り組む健康状態不明者へのアウトリーチ支援

■実施内容

- ・笠岡市は、元々アウトリーチ支援に力を入れており、「会って話をする」「生活状態や身体機能などを実際に見て確認する」ことを重視しており、感染症流行下でも継続。
- ・外出自粛の影響を踏まえて、新たに「80歳以上独居かつ通いの場未利用者」「介護認定はあるが介護サービス未利用者」に対して地域包括支援センターとともにアウトリーチ支援を実施。さらに、医師会と協力し、医療機関の定期受診に来なくなった人や、金融機関など民間団体と協力し、利用者の中で認知症の疑いがある人がいた場合は市に連絡が入る体制を構築し、該当者にはアウトリーチ支援を実施している。

■感染症対策

- ・スタッフの検温、体調チェック、手指消毒、マスク着用、換気、対象者との距離の確保

■対象者の反応

- ・人に会えない期間こそ、保健師さん・看護師さんなどが訪ねて来てくれて心強かった。
- ・コロナで病院に行くことが危険だと思っていた。保健師さんが受診を促してくれなかったらそのまま治療を中断していた。

ハイリスクアプローチ

鹿児島県 日置市

(人口47,745人、高齢化率34.7%)



対象者

スタッフ

「健診結果報告会」を活用したハイリスクアプローチ

■実施内容

- ・日置市では『低栄養・糖尿病性腎症・高血圧・重複頻回受診・重複投薬・健康状態不明』の該当者に対し個別支援を実施。そのうち低栄養・重症化予防については、健診後日に「結果報告会」を開催し、初回支援を実施（対象者の約80%が来場）。その後、訪問や電話で行動変容等を評価し、必要に応じて継続支援を実施している。

■実施体制・感染症対策

- ・対象者一人に対し、保健師（看護師）・管理栄養士・歯科衛生士が面談し、多職種で複合的支援を行っている。1人平均60分の支援を実施。
- ・感染症対策として日時予約制とし、一会場あたりの対象者を少人数に調整（4～6人）。

■対象者の反応

- ・初回支援後の訪問時、支援者が対象者の頑張りを称賛すると感激されていた。
- ・「口の筋力が落ちていることに驚いたが、お口の体操を続けると少しずつ改善し、食事がしやすくなった」等といった声が聞かれた。

鹿児島県 霧島市

(人口124,623人、高齢化率27.4%)



感染対策を徹底した上で、積極的に「訪問相談」を実施

■実施内容

- ・霧島市では『低栄養・糖尿病性腎症・高血圧・重複頻回受診・重複投薬・健康状態不明』の各該当者に対し訪問型の個別相談を実施。
- ・従来は国保事業として重症化予防のための訪問型保健指導に重点的に取り組んできたが、一体的実施の開始を機に、対象年齢を80歳まで引き上げた。感染症流行下であっても、感染症対策を徹底した上で従来の訪問型の個別相談の実施を継続した。

■実施体制・感染症対策

- ・事業毎に担当職種や担当地区を決め、全地域を対象に訪問を実施。
- ・感染対策として訪問前後のアルコール手指消毒とマスクの着用を徹底、対象者へ直接触れることは避け、玄関先での対話を行った。

■対象者の反応

- ・「遠方の家族に会えなかったり、地域行事がなくなったことで誰かと話す機会が減っていた。訪問がうれしかった。」「治療を中断している疾患があったが、話を聞いて受診してみることにした。」等訪問に対する反応は良く、歓迎する声が多かった。